

○今後の事業の方向性の集計結果

別紙2

方向性名称	方向性の内容	費用	成果	28年度事業分	29年度事業分	30年度事業分
拡充推進	さらに費用をかけることにより、成果の向上を図る。	↗	↗	30	30	25
改善推進	費用は現状を維持し、事務事業の見直し(事務改善による効率化、実施方法の転換等)により成果の向上を図る。	→	↗	172	175	167
現状維持	事業の見直しの余地がなく、費用、成果ともに現状を維持する。	→	→	47	41	43
合理化	費用は削減するが、事務事業の見直し(事務改善による効率化、実施方法の転換等)により成果の現状維持を図る。	↘	→	1	2	3
縮小	成果の縮小や後退もやむを得ないものとし、費用を削減して事業を縮小する。	↘	↘	0	1	0
統廃合等	事業を抜本的に見直し、休止、廃止、他事業との統合、終期設定等を行う。	—	—	3	1	2
終了	事業の目的を達成または終期到来のため、事業終了とする(単年度事業であり、他の事業との関連や今後の継続性がない事業もここに含む)	—	—	14	12	17

「今後の事業の方向性」別事業率(%)

